令和８年１０月５日（月）

# 「インクルーシブな学校運営」通信　第２３号

カリキュラム・マネージャー

## ４名の中高養生、更農で貴重な実習

「更農での授業参加」を組み入れた中高養の現場実習が３週間に渡って行われました。参加したのは４名の生徒で、１名はすべての授業（計９時間）に参加しました。

第１週　２年生活福祉コース「草花」２単位時間３名
第２週　３年農業経営コース「作物」２単位時間１名
　　２年生活福祉コース「草花」２単位時間１名
第３週　３年農業経営コース「野菜」２単位時間２名
　　１年「農業と環境」　　１単位時間２名

以下に、第３週目の様子を紹介します。（第１，２週は通信第２２号に掲載）

● **3年農業経営コース「野菜」**





９月１６日（水）５、６校時、２名の中高養生が、「野菜」の授業に参加して更農３年の生徒たちと共に学習しました。活動は収穫したメロンの重さの記録、スイートコーン畑の残さ処理、収穫した玉葱の調整など多岐にわたりましたが、予定された作業にしっかりと取り組みました。

● **1年「農業と環境」**





９月１８日（金）１校時、「野菜」の授業に参加した２名の生徒が「農業と環境」の授業にも参加しました。先生の説明を聞き自分の役割を確認した上で、更農１年生と協力して畑の残さ処理、スイートコーンの皮むきやミニトマトの汚れ落としなどを行い、３週間に渡った更農での実習を終えました。

**年内に予定している「交流及び共同学習」**

- １０月　８日（木）第２学年「交流学習」
- １０月２９日（木）第２回オンライン共同学習（静岡県教委視察）　※中高養事前学習２３日（金）
- １２月２２日（火）第３回オンライン共同学習（実践発表会の公開授業）
- １１月～１２月書道科共同学習（日程、対象学年等検討中）

令和８年１０月５日（月）

# 日本特殊教育学会で実践発表



９月１９日（土）から３日間、神戸市で第６４回大会が開催され、「インクルーシブな学校運営モデル校の挑戦」をテーマとするシンポジウム（分科会）で、中高養の阿部Ｔが更農と中高養のこれまでの取組を紹介しました。

発表は、本校の他、横浜市教育委員会、宮崎県立こすもす支援学校、信州大学附属特別支援学校の４者ですが、同じモデル事業を受託しているとは言え実践化へのアプローチは全く異なっていてそれぞれ特色があり、参加者は興味深く発表を聞いていたとのことです。

本校の発表に対しては指定討論者から「更別農業高校の一人一人に応じた教育（特別支援教育）はどのように発展したのか。今後、中札内高等養護学校との連携はどのようになっていくべきと考えているか。」と論点が示され、普通高校と高等養護学校の関係構築の事例として期待を寄せられたとのことです。

# 言動の背景を探る　「共に学ぶ会」

９月３０日（水）、本年度４回目となる「共に学ぶ会」が開催され、両校合わせて１２名の先生方が事例を通して意見交換を行いました。

今回のテーマは「『何で僕だけ･･･』指導を受け入れられない生徒の理解と対応」で、在籍する生徒の事例を取り上げ、当該生徒がどうして指導を受け入れられないのか、その背景や原因を話し合いました。「個人検討⇒学校毎の意見交換⇒交流」の流れで進められ、様々な観点から意見が出されました。オンラインでの交流では、学校毎の話合いでは出てこなかった視点もあり、互いに真剣な表情で聞いていました。

後半には、今後の指導の手がかりについても意見交換され、今後に生かしたいと言う意見が聞かれました。ファシリテーターの先生からは、「生徒の言動は『氷山の一角』、見えていない海面下に何があるか考えることが大切」とまとめがありました。



中高養



更農

# 「モデル事業」実践報告会

１２月にインクルーシブな学校運営モデル事業の公開授業及び実践報告会が予定されており、中高養の「交流及び共同学習」委員会で詳細を検討中です。

すべてオンラインで実施することとしており、現在参加を受付中です。

日時　１２月２２日（火）　第１部　８：５０～９：４０　第２部　１４：１５～１５：３５
内容　第１部　配信に関わる説明　オンライン共同学習（ライブ配信）
　　第２部　開会式　実践報告　令和９年度の計画　講評及び事業総括　閉会式